

第3章 もっとつながる 「しずく トーク」

パネリスト：嘉田知事 ・ 竹村公太郎 日本水フォーラム代表理事
寶 Com aqua 理事 コーディネーター役：渡邊代表理事

代表理事渡邊が一番楽しみにもしていたこのコーナー。ここに門川市長も加わる予定でしたが、予定していた時間も押していたため、とても残念でしたが、次のご公務の為お帰り頂きました。

そして、各パネリストとのトークが始まりました。



このコーナーの直前の講演では琵琶湖と京都への導水・琵琶湖疏水との関係性について面白く嘉田知事と門川市長には上流と下流との関係性について触れていただきその辺りから水関係つながりを説いてもらう質問で交わされた。



やはり琵琶湖疏水の京都から見た上流域であるお立場として琵琶湖全体での取組みの姿勢や水の存在価値の地域理解が琵琶湖一体の水質の改善につながり下流域への思いへと滋賀県側からとしての構想をお話頂きました。

マザーレイク琵琶湖と称しておられることもあり、水への関心の高さがとても参加者へ心に響く内容として熱く訴えておられました。





やはり竹村様には国際的視点から水問題を協同としての取組みかたや世界への発展へ向けてのねらいなどを山田知事のビデオメッセージから結びついてお話を頂いた。世界水フォーラムでは日本の核となって活動する団体でもあるので、国内における団体の連携や歩き出した Com aqua への期待も交えて語って頂きました。

学術的からの意見として、地域住民や社会で取り組むべきことは何か？

国際的視野を持つ理事長から今後の活動などの Com aqua 理事としての意気込みや当日参加頂いた様々な職種の方がおられるところからどんな連携が必要なのかを語って頂きました。



互いに関心のあること、これからの発展に必要なものを語って頂きましたが、やはり連携、Com aqua が謳っている住民・地域・国際間と「つながり」が必要と共通した意見でした。